

17 栄公園振興株式会社

令和6年7月1日現在

設立年月日		平成6年9月30日	代表者氏名		代表取締役社長 菊池 文泰				
所在地		名古屋市東区東桜一丁目11番1号				電話番号	052-951-7101		
ホームページアドレス		https://www.sakaepark.co.jp							
資本金・基本金		1,500,000千円	市出資・出捐金		787,500千円 (52.5%)				
所管部局		住宅都市局リニア関連都心開発部都心まちづくり課				電話番号	052-972-2768		
設立目的		栄公園(広場ゾーン)は地上と地下が一体となった大規模な立体型公園を整備するとともにバスターミナルを建設する計画であり、都心の新たな魅力と賑わいの創出を目指している。このため便益施設の運営やイベントの開催などに民間の持つノウハウを活用することが必要となり、第三セクターを設立し、魅力ある都市空間づくりに寄与することを目的とする。							
主な事業	事業名		令和5年度 営業収益		事業の概要				
	不動産賃貸業		664,936千円		不動産の賃貸借及び管理				
	受託事業		167,866千円		公園施設、バスターミナルの管理受託				
役職員数			常勤非常勤						
	役員数		3人 (うち市派遣)		1人 (うち市OB)		2人 5人		
	職員数		11人 (うち市派遣)		1人 (うち市OB)		4人 7人		
常勤役員平均報酬 (市派遣職員を除く)		4,565千円		正規職員平均給与 (市派遣職員、臨時職員、嘱託職員等除く)		6,593千円		正規職員平均年齢 (市派遣職員除く)	48.8歳
		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
市からの財政支出	委託料		0千円		0千円		0千円		
	内 随意契約金額		(0千円)		(0千円)		(0千円)		
	補助金		0千円		0千円		0千円		
	指定管理料		163,836千円		167,983千円		167,866千円		
	貸付金 (年度末残高)		0億円		0億円		0億円		
損益計算書 (正味財産増減計算書)	経常収益		778,374千円		798,948千円		841,149千円		
	経常費用		716,296千円		745,235千円		728,450千円		
	経常利益(損失)		62,078千円		53,713千円		112,699千円		
	当期利益(損失)		36,462千円		36,922千円		75,580千円		
貸借対照表	総資産		2,815,254千円		2,487,894千円		2,740,118千円		
	内 流動資産		(1,454,548千円)		(799,200千円)		(910,885千円)		
	内 固定資産等		(1,360,705千円)		(1,688,694千円)		(1,829,234千円)		
	総負債		856,699千円		492,418千円		669,062千円		
	内 流動負債		(522,113千円)		(170,223千円)		(323,584千円)		
	内 固定負債等		(334,586千円)		(322,195千円)		(345,478千円)		
	純資産(正味財産)		1,958,554千円		1,995,476千円		2,071,056千円		

経営に関する指標（共通指標）

17 栄公園振興株式会社

○法人の自立性

	令和4年度	令和5年度	対前年度増減
市からの収入割合 $\left(\frac{\text{市からの委託料・補助金・指定管理料}}{\text{経常収益}} \right)$	21.0%	20.0%	▲1.0%
市との随意契約比率 $\left(\frac{\text{市との随意契約金額}}{\text{市からの委託料総額}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
	令和5年7月1日現在	令和6年7月1日現在	対前年増減
市職員の役員就任割合 $\left(\frac{\text{市職員の役員数}}{\text{役員総数}} \right)$	37.5%	37.5%	0.0%
固有職員比率 $\left(\frac{\text{常勤固有職員数}}{\text{常勤職員数}} \right)$	60.0%	54.5%	▲5.5%

○組織運営の効率性

	令和4年度	令和5年度	対前年度増減
販売・管理費比率 $\left(\frac{\text{販売・管理費}}{\text{経常収益}} \right)$	10.3%	9.5%	▲0.8%

○財務の健全性

	令和4年度	令和5年度	対前年度増減
自己資本比率 $\left(\frac{\text{純資産(正味財産)}}{\text{総資産}} \right)$	80.2%	75.6%	▲4.6%
流動比率 $\left(\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \right)$	469.5%	281.5%	▲188.0%
固定長期適合率 $\left(\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}} \right)$	72.9%	75.7%	+2.8%
借入金依存度 $\left(\frac{\text{借入金+社債}}{\text{総資産}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
剰余金(欠損金) $\left(\frac{\text{純資産(正味財産)} - \text{基本金・資本金}}{\text{ }} \right)$	495,476千円	571,056千円	+75,580千円

○ 経営戦略計画(R4～R8)の概要

経営戦略方針
栄公園振興株式会社は、オアシス21の管理運営を通じて栄地区の賑わいを創出し、名古屋の都心の活性化に貢献します。

主な経営戦略目標【戦略基軸】	主な成果指標(単位)	5 目標値	5 実績値
【発信・発見】 A オアシス21ならではの店舗・公園・イベントの魅力を高め、発信します B 訪れるたびに何かが見つかる期待(来たい)感のある空間を提供します	ホームページのアクセス件数(万件)	183	232
	オアシス21来場者数(万人)	1,168	1,342
【安心・安全】 C 新型コロナウイルスや防災・減災などの危機管理対策を的確に進めます D サステイナブルな視点をもって施設を管理運営します	防災訓練などの実施(回/年)	4	6
	中長期保全計画の着実な実行	計画実行	計画実行
【共創・協奏】 E 名古屋市との共同により行政課題の解決や公共貢献に取り組めます F 近隣施設や地域団体と連携し、栄地区のまちづくりを推進します	SDGsのコンセプトを踏まえたイベントの開催(回/年)	12	12
	久屋大通発展会などの活動への参加(回/年)	15	18
【経営健全化と未来への投資】 G 経営の健全化を図るとともに大規模リニューアルの準備を進めます H 中長期的視野を備えた人材の確保・育成を図ります	リニューアルに必要な資金の確保【経常利益】(万円)	1,000	11,269
	全社員が参画する経営会議の開催(回/年)	24	24